

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県豊橋市

3 地域再生計画の区域

愛知県豊橋市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2015年（平成27年）国勢調査結果によると374,765人で、豊橋市人口ビジョンで示した推計値376,000人より1,200人程度下回る結果となりました。住民基本台帳によると2021年（令和3年）1月には375,329人となっています。2015年の国勢調査結果を基に再推計したところ、2060年（令和42年）には、284,000人になることが見込まれています。

本市の自然動態をみると、2015年（平成27年）から自然減に転じ、2019年には841人の自然減となっています。

社会動態をみると、若者や女性の首都圏への流出が続いており、2019年には、15歳～39歳の年齢層すべてが転出超過となっており、全体では658人の社会減となっています。

このような状況の中、本市では、2015（平成27）年度に策定した豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略で5つの個別戦略を掲げ、人口減少社会への対応の観点からさまざまな取り組みを推進してきました。総人口の減少傾向に大きな変化はないものの、出生率の低迷や若者の流出がこのまま続けば、人口減少のさらなる加速化が予想されることから、一層の対策が必要となります。

このまま人口減少が加速すると、生産年齢人口の減少による地域産業の衰退や地域コミュニティの衰退といった課題が生じる恐れがあります。

こうした中、総務省が公表した人口移動報告では、2020（令和2）年5月、東京

都の社会増減数が転出超過となり、2013（平成 25）年 7 月に外国人を加えた現在の調査方法となつて以来、初めてのこととなりました。

新型コロナウイルス感染症が社会に与えた影響は極めて大きく、人々の居住に関する意識や価値観にも変化をもたらし、ICT などの進展も相まって、住む場所に捉われない働き方も徐々に浸透するなど、大都市圏からの人の流れづくりを目指す地方にとって追い風となる一面も見られています。

人口の減少は、都市の持続可能性を脅かす重要課題であるとの認識のもと、その解決に向け、出生率の上昇や人口の社会増加を目指します。ついては、まちづくり戦略において、未来の豊橋を見据える中で、人口減少対策の特に重要な要素と考える「若者」及び「女性」に力点を置くとともに、将来に向かって人口減少に歯止めをかけるための、さまざまな施策を実施します。施策の実施に当たっては、次の項目を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図ります。

- ・基本目標 1 活力みなぎる『しごとづくり』
- ・基本目標 2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』
- ・基本目標 3 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』
- ・基本目標 4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の個別戦略
ア	新規創業者数（累計）	972人	2,400人	個別戦略 1
	女性就業者数	50,899人	57,000人	
イ	首都圏からの転入超過数	-674人	0人	個別戦略 2
	休日における滞在人口率	0.98倍	1.1倍	
ウ	合計特殊出生率	1.47	1.65	個別戦略 3
	婚姻数	1,730件	1,800件	
エ	居住誘導区域内人口の割合	70.5%	72%	個別戦略 4
	生活環境に十分満足している 人の割合	42.5%	50%	

書式変更：文字の均等割り付け： 5.25 字

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 活力みなぎる『しごとづくり』事業
- イ 選ばれ集う『ひとの流れづくり』事業
- ウ 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』事業
- エ 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』事業

② 事業の内容

ア 活力みなぎる『しごとづくり』事業

地域の力を結集し、地域産業の活性化に向け、魅力的な働く場の創出や新たな投資を生み出す好循環の確立。

【具体的な事業】

- ・人材力の強化と事業承継への支援
- ・新ビジネスの創出、企業BCP対策や健康経営の取り組み 等

イ 選ばれ集う『ひとの流れづくり』事業

仕事や暮らしの魅力をまち全体で育むとともに広く発信し、地域内外の多様な人たちが選び集うまちの形成。

【具体的な事業】

- ・仕事と暮らしの魅力発信など定住都市の推進、移住の促進
- ・地域資源を生かしたプロモーションなど交流・関係人口の拡大 等

ウ 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』事業

結婚、出産、子育てへの希望を社会全体でかなえとともに、一人ひとりにあわせた質の高い教育の充実。

【具体的な事業】

- ・結婚から出産、子育てまでの包括的支援
- ・働きながら子育てできる環境づくり、質の高い教育による人材育成 等

エ 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』事業

社会基盤の整備と再編による、環境に配慮した効率的な都市経営を行うとともに、安心して暮らせる住みよいまちの形成。

【具体的な事業】

- ・便利で快適に暮らせるまちづくりの推進
- ・地球環境にやさしいまちづくりの推進 等

※なお、詳細は第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

22,600,000千円（2021年度～2025年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

産業界、行政機関、大学等により組織される「第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」（仮称）において、毎年8月頃に事業の検証を行い、意見を取り入れながら事業を実施していく。議会への報告後、速やかに本市公式WEBサイトなどで公表する。

⑥ 事業実施期間

2021年4月1日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで